

相撲競技実施における留意事項 (新型コロナウイルス感染症拡大防止対策)

日本相撲連盟「相撲における競技会再開ガイドライン」を元に県中体連相撲専門部で作成

【選手】

- ① 必ず朝の健康チェックを行い、検温・かぜ症状の有無を記載した「参加同意書」をチームの代表者に提出すること。
体調の優れない選手(倦怠感、咳、咽頭痛又は味覚や嗅覚異常など)は来場を禁止します。
- ② 更衣をする際は「3密」の状態を避けるよう注意すること。
- ③ タオル、給水用具(コップ、ペットボトル等)は自分専用のもを使用し、共有使いはしない。
- ④ 競技時以外はマスクを着用し、こまめに手洗い(30秒以上)・手指消毒を行う。また、真正面での会話を避ける。
- ⑤ 対戦の前後には、消毒用アルコールティッシュ等で手指の他、顔面・胸・肩等を拭く。アレルギー等も考慮し、消毒用品はできる限り各自で準備すること(大会本部でも準備する)。
- ⑥ 応援の際は大声を出さないようにし、拍手での応援を基本とすること。
- ⑦ 競技時以外はマスクを着用すること。ただし、息苦しさを感じたときはすぐにマスクを外し休憩を取ること。

【監督・コーチ等】

- ① チームの代表者は選手や応援者の健康状態を把握し、受付時に「参加同意書(選手用)」「健康チェック表(監督・コーチ・応援者)」を提出すること。
- ② 作戦指導・指示等は、控えに入る前に済ませ、その後の大声での指導・指示・応援は行わない。
- ③ 真正面からの指導、指示は避ける。
- ④ 会場ではマスクを着用すること。ただし息苦しさを感じたときはすぐにマスクを外し、日陰等で休憩を取ること。

【応援者】

- ① 必ず朝の健康チェックを行い、検温結果やかぜ症状の有無をチームの代表者に報告すること。
体調の優れない方(倦怠感、咳、咽頭痛又は味覚や嗅覚異常など)は来場を禁止します。
- ② 会場ではマスクを着用すること。ただし息苦しさを感じたときはすぐにマスクを外し、日陰等で休憩を取ること。
- ③ **応援者は原則として保護者(選手1名につき1名程度)とし、一般の方の入場は控えていただく。**
- ④ 観客席では、人との間隔を十分に確保できるよう努めること。
- ⑤ 応援の際は大声を出さないようにし、拍手での応援を基本とする。
- ⑦ 大会中に出たゴミ等は、各自で持ち帰ること。

【役員・審判】

- ① 必ず朝の健康チェックを行い、検温結果やかぜ症状の有無を大会本部に報告すること。
体調の優れない方(倦怠感、咳、咽頭痛又は味覚や嗅覚異常など)は来場を禁止します。
- ② 会場ではマスクを着用すること(審判中も)。ただし息苦しさを感じたときはすぐにマスクを外し、日陰等で休憩を取ること。